

令和5年12月三田市議会定例会(第374回)一般質問発言通告一覧
(第3日・12月11日 個人質問)

20番 松岡 信生 <一問一答>

- 1 為政者としての政治姿勢について
 - (1) 言葉の重みと責任に対する向き合い方について。
 - (2) 問責決議に対する受け止めについて。
- 2 市民病院の再編統合に向けた取組について
 - (1) リスタートに向けた調整及び今後のスケジュール等について。
 - (2) 跡地活用及び交通アクセス等について。
- 3 物価高騰対策と経済再生に向けた取組について
 - (1) 「重点支援地方交付金」の予算化について。
 - (2) 具体的推奨事業の取組について。
- 4 今後の福祉施策の取組について
 - (1) HPVワクチンの男性への接種と公費助成の検討について。
 - (2) 意思疎通支援策としての養成講座受講者派遣の事業化について。

5番 福田 佳則 <一問一答>

- 1 地域公共交通の今後に向けた取組について
 - (1) 交通不便地域における課題と対策について。
 - (2) 高齢者の外出支援への取組について。
- 2 里山環境保全に向けた取組について
 - (1) 放置林対策と課題について。
 - (2) 太陽光発電設備設置箇所の管理における対応について。

21番 今北 義明 <一問一答>

- 1 市長の所信表明に対する疑問点について
 - (1) 市民病院の再編統合に関する諸問題について。
 - (ア) 凍結している病院再編統合再開に至るまでの経緯を伺う。
 - (イ) 再開を判断されたポイントはどの点であったのか伺う。
 - (ウ) 関係機関との「基本協定・連携協約」締結に対し、4ヶ月の空白期間に対する責任をどう考えているか伺う。
 - (エ) これまでの予算の扱い方について伺う。
 - (オ) 令和7年度から指定管理者制度の導入することができるのか伺う。
 - (カ) 再編統合に向けての今後のスケジュールを伺う。
 - (2) 市政の停滞に対しての責任説明はどう考えておられるのか伺う。
- 2 不登校の児童生徒等への支援について
 - (1) 三田市における不登校の児童生徒等の状況について伺う。
 - (2) 校内教育支援センターの設置促進について伺う。
 - (3) ICT環境の整備について伺う。
 - (4) スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置充実について伺う。

(5) フリースクール・保護者に対する補助・支援について伺う。

3 株式会社サンフラワーの諸問題について

(1) サンフラワーの運営について伺う。

(2) 連帯保証人に対しての兵庫県との協議経過について伺う。

6番 井上 昭吾 <一問一答>

1 「校内フリースクール」及び「学びの多様化学校（不登校特例校）」の設置と統合新設中学校の構想について

(1) 急増する不登校児童・生徒についての対応に関して以下の質問をします。

(ア) 全国で不登校が急増している要因と三田市の特徴的な要因について。

(イ) 子どもの居場所を確保するための「校内フリースクール」設置の検討について。

(ウ) 学びの多様化に対応した「学びの多様化学校（不登校特例校）」設置の検討について。

(エ) 統合新設中学校の構想について。

2 「旅」&「スタディ」制度の導入について

(1) 大分県別府市が2023年9月から導入した「たびスタ」制度は、事前に保護者が申請すれば家族旅行で学校を休んでも欠席扱いをせず、年間3日まで休暇を取得できるというものです。教育的意義を鑑みて同様の制度の導入を提案しますが、教育委員会の考えをお聞きします。

3 三田の歴史文化を生かす施策について

(1) 三田の歴史文化を生かす施策について以下の質問をします。

(ア) 市立図書館の特別展示室や市民センターを活用した展示計画について。

(イ) 近代草創期の教育に関与した多くの三田の先人について調査を進め、「学びのまち三田」を打ち出した地域創生について。

(ウ) 文化担当職員の育成を含めた、歴史資料収蔵庫センター収蔵品の整理・調査研究・活用するためのビジョン構築と体制整備について。

4 地域医療市民会議とさんだ地域医療フォーラムに要した経費と本事業の成果について

(1) 緊急開催された地域医療市民会議やさんだ地域医療フォーラムに費やした経費の確認は事業成果を検証する材料として重要と考えるため、以下の質問をします。

(ア) 人件費等を含めた本事業の運営経費の概算について。

(イ) 参加者数のべ612人にとどまった本事業の評価について。

(ウ) 市民アンケートについて。

5 市民病院再編統合の理解を得るための今後の取組について

(1) 公約を事実上撤回された市長は、市民への説明責任があります。市民病院の再編統合計画の再開と同時に、市民の理解を得る努力を継続していくことが大切だと思いますが、今後の取組について考えをお聞きします。

6 「田村克也市長への手紙」について

(1) 市長に届けられた150通を超える手紙の中で、対応が必要として担当課に指示した案件数をお聞きします。また、市民の提案に対して必ず回答している「わたしの提案」制度がある中で、返事を出さない「市長への手紙」の制度設計は見直しを図る必要があると思いますが、市の考えをお聞きします。

3番 水元 サユミ <一問一答>

1 市長の政治責任と市民病院再編統合問題について

(1) 地域医療市民会議と地域医療フォーラムについて。

- (ア) 参加条件が市内在住限定とあったが市外からも参加していた件について。
 - (イ) 「残すための手段」が資料になかったことについて。
 - (ウ) フォーラムのパネリストが再編統合推進の方ばかりだったことについて。
 - (エ) 統合新病院では3次救急や大学病院並みの高度な医療の提供が難しいことについて。
- (2) 市長が市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合計画を再開するとした根拠は何か。
 - (3) 公約の「白紙撤回」を撤回するということについて。
 - (4) 問責決議の受け止めについて。
 - (5) 市民病院を現在地に残し充実させることについて。

13番 佐貫 尚子 <一問一答>

- 1 帯状疱疹ワクチン接種について
 - (1) 帯状疱疹ワクチン予防接種の周知・啓発について伺う。
 - (2) 市民の健康と予防という観点から帯状疱疹ワクチン接種費用助成について伺う。
- 2 合同部活動推進実証事業の進捗と課題について
 - (1) 合同部活動推進実証事業のFT（フラワータウン）モデルの進捗と課題について伺う。
 - (2) 実証事業後、他校での合同部活動実施についての考えを伺う。
 - (3) 新入生、保護者への合同部活動、地域移行についての説明について伺う。
- 3 市長が進める子どもを核としたまちづくりについて
 - (1) 子どもを核としたまちづくりの考え方について伺う。
 - (2) 兵庫県の調査で転居先市町選別に子育て政策は影響が少ないとの結果をどのように考えているのか伺う。

10番 肥後 淳三 <一問一答>

- 1 田村克也市長への手紙について
 - (1) 1か月半実施してきた「田村克也市長への手紙」についてお尋ねします。
 - (ア) 即刻取り組まれた内容や次年度予算へ反映させる内容について。
 - (イ) 手紙の提案内容を市ホームページ上で公開することについて。
- 2 地域ぐるみで子どもを育てることについて
 - (1) 各学校が目指すのは、「地域とともにある学校づくり」です。しかし、コミュニティ・スクールで話し合われた内容が地域に伝わってきません。学校と地域が連携を取っていくためにも学校で話し合われた内容等について、地域へ広く知らせる必要があると考えますが、見解を伺います。
 - (2) 保護者からは、学校等での子どもの様子がタイムリーに伝わってこないとお聞きしています。ホームページを充実させ、タイムリーな情報発信をすることが、保護者に安心をもたらし、地域の方々に学校を知っていただく有効な手段となるのではと思いますが、情報発信の考えをお尋ねします。
- 3 不登校等の児童生徒等に対する緊急対策について
 - (1) 令和4年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果では、私立の小中学校を含めた不登校児童生徒が30万人に迫っており、文部科学省が10月に緊急対策の通知を出しました。今後の取組みについてお尋ねします。
 - (ア) 「不登校の児童生徒全ての学びの場の確保」について。
 - (イ) 「心の小さなSOSの早期発見」1人1台の端末を活用する取組みについて。
 - (ウ) 「学校の見える化」等で保護者の安心とコミュニティ・スクールとの連携について。

4 駅前市街地整備の動向について

(1) 全国各地の地方公共団体が関係する再開発事業では、物価高騰等により当初計画の見直しを迫られているところが増えてきています。三田駅前Cブロック地区市街地再開発の今後の計画に影響はないのか。また、既に土地の区画整理事業が終了している新三田駅前の西側の状況をお尋ねします。

5 公共施設に附帯する駐車場の利用料について

(1) 少子高齢化の更なる進行や公共施設の老朽化などで市の財政状況は今後ますます厳しくなると考えられます。市の公共施設の使用料及び手数料の見直しにおいて、公共施設に附帯している無料の駐車場についても、有料を検討する段階ではないかと考えますが、市の見解を伺います。